

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：道路環境課  
 担当名：交通事故緊急対策担当  
 内線：875098 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P20	道路安全施設費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路安全施設費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 道路法			針路 分野施策	09 0901	未来を見据えた社会基盤の創造 住み続けられるまちづくり	SDGsゴール 11 SDGsターゲット 11-2, 11-7
1 事業の概要 道路附属物の適切な維持管理、整備することにより、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。  ア 道路附属物の修繕 △ 342千円  イ 道路附属物の整備 △1,716千円  事務費の節減等による減額補正				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 道路附属物(照明灯等)の電灯料：道路附属物の電気設備を使用するため、電気料金を負担する。 イ 道の駅、トンネル等の維持管理：道の駅やトンネル等における設備機能を維持するため、点検及び修繕等を実施する。 ウ 道路附属物の修繕：道路交通安全、円滑を確保するため、道路附属物の点検及び修繕等を実施する。 エ 道路附属物の整備：道路交通安全、円滑を推進するため、道路附属物を整備する。 オ 道路照明灯具の賃借料：道路照明灯具のLED化を推進するため、リース方式による賃借料を負担する。 カ ガードレール等による通学路の安全対策を実施する。 キ 道路附属物の修繕(財政課指定経費)：道路交通安全、円滑を推進するため、道路照明灯及び大型標識、トンネル設備を修繕する。  事務費の節減等による減額補正 道路附属物の修繕 △ 342千円 道路附属物の整備 △1,716千円 (2) 事業計画 道路照明灯や防護柵等の道路附属物について、劣化状況に応じた修繕を実施する。 (3) 事業効果 道路附属物を適切に維持管理、整備することにより、安全かつ円滑な交通環境が図られ、交通事故の削減と道路通行の安全を確保できる。 (4) その他 イ 道の駅、トンネル等の維持管理 負担対象：道の駅はにゅう外5箇所 対象経費：道の駅等の維持管理に要する費用 負担率：所要額 相手方：羽生領土地改良区他3者 工期：毎年度					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 一般事業債 充当率75% 交付税措置なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10.5人=99,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		諸収入	県債						
決定額	△2,058		△2,000				△58	4,229,940	
現計額	4,231,998	45,125	2,598,000				1,588,873		

## 事業内訳書

事業名	道路安全施設費		
単位事業名	道路付属物の修繕（事務費）	予算額	△ 342千円

○歳入 （単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△342	—	
合計	△342	—	

○歳出 （単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△342	—	事務費の節減等による減
合計	△342	—	

単位事業名	道路付属物の整備（事務費）	予算額	△ 1,716千円
-------	---------------	-----	-----------

○歳入 （単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	△2,000	—	県単独道路建設事業債
一般財源	284	—	

単位事業名	道路付属物の整備（事務費）	予算額	△ 1,716千円
-------	---------------	-----	-----------

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△1,716	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,716	—	事務費の節減等による減
合計	△1,716	—	